

p2 :

- ・ 参考資料へ河川堤防設計指針の追加
- ・ 図の下にすべり破壊のメカニズムを追記

p3 :

- ・ 図 2.1.2 の下にパイピングのメカニズムを追記
- ・ 図 2.1.3 を削除し，図 2.1.2 に盤膨れを追加
- ・ コラムの最後の段落を追記。水防活動，被災後の調査・記録の蓄積の重要性。

p4 :

- ・ 参考資料へ河川堤防設計指針の追加
- ・ 図の下に侵食のメカニズムを追記

p5 :

- ・ 参考資料へ河川堤防設計指針の追加
- ・ 図の下に液状化による被災メカニズムを追記

p7 :

- ・ 視点に記載する要素に「強化等の対策を検討するための」を追加。
- ・ 表の典型的な対策に，「断面拡幅」，「ブランケット」，「堤内基盤排水工」を追加
- ・ 堤防の状況によって適用できる，あるいは，有利な工法が変わることを明記。

p8 :

- ・ 図 3.2.1 の数値軸のずれを補正

p13 :

- ・ 地質縦断図の凡例を追加

p15 :

- ・ 侵食限界流速 → 侵食移動限界流速

p21 :

- ・ 図 5.4.1 の数値軸のずれを修正

p23 :

- ・※に CU 条件の強度定数の求め方も厳密ではないことを追記

p24 :

- ・コラムの「緩い砂礫怒濤で CD 試験を実施するとせん断中に密度が増加し、強度を過大評価する可能性」を強調

p36 :

- ・堤内側の水路における局所動水勾配の取扱いにおいて、水路の維持管理の状況も加味すべきことを加えた。

p38 :

- ・堤体への影響を追加
- ・ポイント（軟弱地盤か？）を p39 に移動

p49 :

- ・「侵食対策として効果も期待できる場合がある」を削除

p53 :

- ・河川堤防設計指針を追加
- ・ドレーン工設計マニュアルを更新

p59～62:

- ・国総研公表土質試験データを集計しなおした。